

平成 25 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 愛隣園

2013年度（平成25年度）事業報告

社会福祉法人 愛隣園

月日	事業名	内 容	参加人数	備 考
5月20日	監事監査	法人及び施設会計の決算監査	監事2名	愛隣保育園 ガリラヤ荘
5月25日	理事会 評議員会	2013年度第1回理事会及び評議員会開催 1. 理事の退任について（理事会のみ） 2. 理事・評議員の定数の見直しに伴う定款の変更について 3. 新評議員の選任について（理事会のみ） 4. 2012年度（平成24年度）事業報告について 5. 2012年度（平成24年度）決算報告について 6. 2013年度（平成25年度）第一次補正予算（案）について 7. 運営規程の変更（案）について 8. 理事長退任功労金支給規程（案）の新規制定について 9. その他事項	理事10名 （欠席0名） 監事2名 評議員18名 （欠席3名）	東京第一 ホテル松山
10月6日	理事会 評議員会	2013年度第2回理事会及び評議員会開催 1. サービス付高齢者住宅（三津）の建築について 2. 松山市保育所整備事業の応募について 3. 2013年度（平成25年度）補正予算（案）について 4. 給与規程の変更（案）について 5. ガリラヤ荘における給食業務委託事業者選定について 6. その他事項	理事5名 （欠席2名） 監事2名 評議員11名 （欠席4名）	ガリラヤ荘
11月11日	監事監査	施設期中監査	監事2名	愛隣保育園
11月20日	監事監査	法人及び施設期中監査	監事2名	ガリラヤ荘
1月26日	理事会 評議員会	2013年度第3回理事会及び評議員会開催 1. 旅費規程（法人）の変更（案）について 2. 就業規則等（愛隣保育園）の変更（案）について 3. 就業規則（ガリラヤ荘）の変更（案）について 4. 給与規程（愛隣保育園）の変更（案）について 5. 準職員の就業規則（ガリラヤ荘）の変更（案）について 6. 資格取得費用一部助成に関する規程（ガリラヤ荘）の変更（案）について 7. その他事項	理事7名 （欠席0名） 監事1名 （欠席1名） 評議員14名 （欠席1名）	ガリラヤ荘

3月30日	理事会 評議員会	2012年度第4回理事会及び評議員会開催 1. 平成25年度補正予算(案)の承認に関する件 2. 平成26年度事業(活動)計画(案)に関する件 3. 平成26年度当初予算(案)に関する件 4. 職員就業規則等諸規程(愛隣保育園)の変更(案)について 5. 運営規程(ガリラヤ荘)の変更(案)に関する件 6. 愛隣保育園移築用土地の購入の件(評議員会のみ) 7. 理事・監事選任に関する件(評議員会のみ) 8. その他事項	理事6名 (欠席1名) 監事1名 (欠席1名) 評議員12名 (欠席3名)	東京第一 ホテル松山
-------	-------------	--	--	---------------

研修参加状況

月	日	時間		氏名	役職名	研 修 名
		から	まで			
4	12	11:00	15:00	佐々木 信也	理事長	日本キリスト教保育所同盟四国地区理事長・園長会
6	13	13:00	17:00	佐々木 信也	理事長	日本キリスト教社会事業同盟第69回総会・研修会
6	14	7:00	12:10			
6	19	13:00	17:00	藤田 基	理事	保育新制度セミナー
7	16	9:30	17:00	佐々木 信也	理事長	簿記講座 初級講座
7	17					
7	31	13:00	15:15	佐々木 信也	理事長	社会福祉施設経営者セミナー・総会
8	20	9:30	17:00	佐々木 信也	理事長	簿記講座 中級講座
8	21					
9	27	13:00	16:00	佐々木 信也	理事長	法人理事長研修会『顧客満足に向けた取り組み』
2	1	10:00	17:00	佐々木 信也	理事長	四国老人福祉学会第33回大会
3	11	13:00	16:00	佐々木 信也	理事長	社会福祉施設監事監査研修会
				戸嶋 恵	監事	

2013年度(平成25年度)保育事業(活動)報告

愛隣保育園

1. 保育の目的

キリスト教主義に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法によって保育を行った。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準

第5章第32条より第36条を遵守した。

- (1) 保護者との関係をより親密に保つことを保育の一環とし、見学时より、丁寧に関わりをもった。
それぞれの家庭状況に合わせた関係づくりを意識し、保護者と思いを共有しながら保育を行った。
- (2) 保育活動の中で近隣地域との交流をできる限り多く行ったり、未就園児の家庭への働きかけを積極的に行った。

(敬老の日、運動会、クリスマス会、遊戯会、保育所体験特別事業等)

2. 保育理念に基づき次の保育目標をもつ

- (1) あるがままの生活をしよう。
- (2) 基本的な生活習慣を身につけよう。
- (3) 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
- (4) 自分を豊かに表現する子どもになろう。

3. 児童数 (別表 1-1)

定員 60名 現数 75名

(0歳児 9名、1～2歳児 23名、3歳児 17名、4歳以上児 26名)

4. 職員数 (別表 1-2)

園長 1名、保育士 13名、調理員 3名、事務 1名

5. 保育活動 (別表 2)

6. 特別事業の実施状況

- ① 保育所体験特別事業 (別表 3-1)
- ② 延長保育事業 (別表 3-2)
- ③ 障害児保育事業

7. 園で取り組んだこと

- ① 地域との交流
- ② 食育活動
- ③ 地域子育て支援の推進

3. 児童数

別表(1-1)

入所児童状況

平成26年3月31日現在

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	備 考
4月	3	9	11	16	10	16	65	
5月	4	9	11	16	10	16	66	0歳児1名 入園
6月	5	10	11	17	10	16	69	0歳児1名、1歳児1名、3歳児1名入園
7月	5	10	11	17	10	16	69	
8月	6	11	11	17	10	16	71	0歳児1名、1歳児1名 入園
9月	8	11	12	17	10	16	74	0歳児2名、2歳児1名 入園
10月	8	11	12	17	10	16	74	
11月	9	11	12	17	10	16	75	0歳児1名 入園
12月	9	11	12	17	10	16	75	
1月	9	11	12	17	10	16	75	
2月	9	11	12	17	10	16	75	
3月	9	11	12	17	10	16	75	
計	84	126	139	202	120	192	863	

4. 職員数

(別表1-2)

職員状況

月	園長	保育士			調理員			事務員他	合計			備 考
	正規	正規	非常勤	パート	正規	非常勤	パート	正規	正規	非常勤	パート	
4月	1	12			3			1	17			
7月		7	4	1	2	1			11	5	1	
8月	1	13			3			1	18			8月19日 保育士(非常勤)1名採用 1月1日から 保育士(非常勤)1名産休
3月		7	5	1	2	1			11	6	1	

事務職員…保育兼務(資格有り)

5. 保育活動

(別表2) 行事的保育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 活 動	他
4月6日	土	入園式	保護者同伴。式は理事長・園長のあいさつ、各組担任による園児の紹介、子どもたちの歌、職員の人形劇で終え、各組でおやつを食して11:30降園する。 保護者会(役員選出・年間行事計画)
4月16日	火	歯科検診	医師 道田 満代氏 10:00～12:00
4月18日	木	内科検診	医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
4月27日	土	歓迎遠足	藤山健康文化公園 9:00～14:00 保護者、祖父母、卒園した小学生にも声をかけ保育園児との交流を持つ。
5月18日	土	保育参観日	くま組(5歳児)、きりん組(4歳児)、りす組(2歳児) 9:30～12:00
6月1日	土	保育参観日	うさぎ組(3歳児)、ひよこ組(0・1歳児) 9:30～12:00
6月3日 ～6月21日	月	愛媛調理製菓専門学校2年生 実習	
6月5日	水	くま組(5歳児)石手川公園遠足	ガリラヤ荘訪問の予定であったが、未満児のクラスで嘔吐下痢が流行していたため、場所を変更する。
6月13日	木	花の日	礼拝を三津教会で行い、子どもたちが日頃お世話になっている公共施設やご近所に感謝の気持ちとともに花を届ける。
7月13日	土	赤十字幼児安全法短期講習開催	保護者会と一緒に乳幼児の心肺蘇生法とAEDの使い方の講習を受ける。
7月23日	火	松山市による指導監査	9:30～13:00 (7名)
7月27日	土	興居島海水浴	くま組(5歳児16名)、引率者(職員9名、役員・保護者3名)
8月3日	土	稚魚放流活動に参加	
8月20日	火	愛媛県立松山西中等教育学校	4年、5年生 6名来園
8月21日	水	愛媛県立松山西中等教育学校	4年、5年生 6名来園
9月14日	土	敬老参観日	<プログラム> 1. 子どもたちのハンドベル奏・うた。 2. 保育士の劇、本多先生(愛育幼稚園園長)による演芸など。 3. 茶話会。

月 日	曜日	行 事 的 保 育 活 動 他
9月27日	金	三津浜中学校2年生職場体験 4名来園
10月21日	月	運 動 会 雨天のため順延。大可賀公園で保護者、祖父母、地域の方、三津浜小学生、約250名参加 9:00～12:30
10月29日	火	秋の遠足 4・5歳児はアンパンマントロッコ列車を利用し、波方公園へ遠足。 0・1・2・3歳児は祓川公園へ、遠足。
11月8日	金	幼・保・小交流活動 三津浜小学校訪問 くま組(5歳児) 10:15～11:20
11月14日	木	感 謝 祭 礼拝を三津教会で行い、子どもたちが日頃お世話になっている公共施設やご近所に感謝の気持ちとともに、家から持ち寄った果物や野菜を届ける。
11月21日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
11月22日	金	人形げきや“おたごぐみ”さん公演 …保育所体験特別事業として行い、園児も参加する。
11月26日	火	歯科検診 医師 道田 満代氏 10:00～12:00
12月21日	土	クリスマス祝会 クリスマス礼拝と祝会を保護者やその家族とともに行う。 10:00～11:30
1月11日	土	もちつき 新型インフルエンザ、ノロウイルス等感染症に配慮してもちつき機を使って行う。また、臼・杵を使ってのもちつきも体験する。近隣の家庭に配る。
2月22日	土	お別れ遠足 北条文化の森公園 9:30～13:30 保護者、祖父母、卒園した小学生にも声をかけ保育園児との交流を持つ。
3月29日	土	遊戯会、卒園式を合わせて行う 9:15～12:45 新入園児の面接 15:00～16:30

※ 誕生会… 毎月1回

※ 避難訓練…毎月1回

6. 特別事業の実施状況

- ①保育所体験特別事業 … 生後6ヶ月から就学前の未就園児と保護者を対象とし、定期的な保育所体験を実施するとともに、入所児童との交流や、育児に関する相談を受ける。

(別表3-1) 保育所体験特別事業の利用者数

回	実施日	内容	参加者
1	4月26日	室内の遊具・玩具で遊んだり、広場で遊んだりする。	子:13人 親:11人
2	4月27日	歓迎遠足に参加する。(藤山健康文化公園)	子: 3人 親: 3人
3	5月21日	在園児と一緒に歌や手遊びを楽しんだり、広場で遊んだりする。	子:12人 親:11人
4	6月25日	製作をしたり、リズム遊びをしたりする。エプロンシアターを楽しむ。	子:15人 親:16人
5	7月19日	ダンス・体操を在園児とした後、水遊びを楽しむ。	子:15人 親:14人
6	8月7日	ダンス・体操を在園児とした後、水遊びを楽しむ。	子:16人 親:15人
7	9月20日	在園児と一緒に三津公園に行き、運動会ごっこを楽しむ。	子:10人 親: 8人
8	10月21日	運動会を楽しむ。	親子約10組
9	11月22日	人形げきやおたこぐみさんの公演を全園児と一緒に楽しむ。	子:19人 親:15人
10	12月26日	正月の製作をしたり、作品で遊んだりする。給食後、広場で遊ぶ。	子:15人 親:12人
11	1月17日	インフルエンザ流行のため、中止。	
12	2月14日	年長児とリズム遊びをしたり、各年齢に分かれて運動遊びをする。	子:13人 親:11人
13	2月27日	お別れ遠足に参加する。(北条文化の森公園)	子: 3人 親: 2人
14	3月29日	遊戯会を見て楽しむ。	子: 2人 親: 2人

- ② 延長保育事業 … 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため行う。

(別表3-2) 延長保育事業延人数 (18:00~19:00 の利用者)

月	未満児	3歳児	4歳以上児	合計
4	59	13	63	135
5	61	16	59	136
6	55	18	58	131
7	56	20	70	146
8	53	25	59	137
9	61	17	50	128
10	50	18	46	114
11	46	17	58	121
12	42	18	51	111
1	53	28	58	139
2	57	25	59	141
3	65	26	57	148
計	658	241	688	1,587

③ 障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し、障害児に対する適切な処遇の確保を図る。

対象児 : 5歳児 2名 3歳児 1名 計3名

(松山市障害児等療育支援事業利用について)

- 1 実施した支援等の内容
施設支援一般指導事業
・成長や発達が遅るやかな子、配慮が必要な子、病気や障がいがある子への関わり方や療育等の相談
- 2 利用施設
・社会福祉法人 福角会 くるみ園
- 3 実施期間
平成25年5月15日～3月末日

月日	実施内容
4月19日	午前中、各クラスを参観し、午後より担当の引継ぎや、気になる子について話し合う。
5月15日	午前中、2人の園児の発達検査を行い、午後から検査の報告を受ける。
6月18日	午前中、各クラスを参観し、午後、個別のケースについてアドバイスを受ける。
7月29日	午前中、各クラスを参観し、午後、個別のケースについてアドバイスを受ける。
9月25日	午前中、運動会の練習に参加してもらい、午後、参加を嫌がる子への対応や2・3歳児の保育について話し合う。
3月7日	午前中、各クラスを参観し、午後、個別についてのアドバイス、今後の支援事業の在り方について話し合う。

教育相談(松山市教育委員会)の利用について

年長児2名申請する。

・集団生活の中での本児たちの様子を見てもらい、就学するにあたっての相談にのってもらい、担任、園長、保護者の考え等をきいてもらう。

・入学を希望する小学校のコーディネーターの先生にも加わってもらい、受け入れ態勢、配慮事項について確認を取る。

7. 園で取り組んだこと

① 地域との交流

- ・歓迎遠足、お別れ遠足に在園児の祖父母、小学生に参加してもらい交流を深めた。
- ・花の日、感謝祭に近隣の諸施設や近隣の方々に花や野菜・果物を届け、高齢者や施設の方々と交流した。
- ・小・中・高校生との交流を積極的に行った。(交流活動・職場体験・保育園訪問活動)
また、秋の遠足では、他の保育園と一緒にトロッコ列車に乗り、交流を深めた。
- ・各行事に、園児の祖父母、近隣の方々に案内をし、行事を一緒に楽しんだ。
また、運動会には、幅広く地域の方々に声をかけ、参加していただいた。
- ・職員の有志が三津公園の清掃に参加し、地域の方々と親睦を深めた。
- ・(財)日本釣振興主催の稚魚放流活動に参加した。

- ・三津教会主催のバザーに職員の有志も参加する。また、保護者や近隣の方々に案内する中、たくさんの方々に参加していただいた。

② 食育活動

- ・年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。また、野菜の栽培、収穫、調理等を経験した。

5月	年長児が、野菜の苗を見に行き、購入。 (きゅうり、ミニトマト、かぼちゃ、すいか、なす、ピーマン、オクラ) 野菜の苗を植え、生育を見守る。 クッキング…クッキーの型抜き
6月	とうもろこし皮むき
7・8月	野菜の収穫 すいかわり
11月	たこ焼き大会
12月	クッキング…お好み焼き 立食パーティー(バイキング)
1月	もちつき大会
2月	クッキング…カレー作り

③ 地域子育て支援の推進

体験保育を利用している方々の子育てについての相談が主であった。
また、卒園児の保護者の方々が小学校に入学してからのことや、見学に来られた方々の相談を受けた。

※ 苦情及び苦情解決の状況について

平成25年度苦情件数 … 1件
内容 … 一人の保護者が、土曜日の行事(入園式)の後の午後保育をしてほしいと言われた。
解決状況 … 今後、検討する旨を伝えた。

※ 感染症について

・インフルエンザ	A型…25名(1月～3月)	B型…1名(3月)
・嘔吐下痢症	34名(8月、11月を除く月)	
・手足口病	15名(6月～8月)	
・流行性耳下腺炎	1名(12月)	
・RSウイルス	4名(11月・12月)	
・流行性結膜炎	2名(12月)	
・プール熱	2名(12月)	
・溶連菌感染症	2名(10月・1月)	
・突発性発疹	2名(11月・2月)	

※ 研修参加状況について
平成25年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
1	H25.4.12	2013年度四国地区理事長・園長会	園長 主任保育士	議案(1)2012年度から2013年度への地区理事改選について (2)四国地区諸報告と決算報告承認の件 (3)四国地区諸計画案と予算案承認の件 (4)地区活動についての協議に関する件	徳島市
2	H25.4.13	平成25年度松山市保育会総会	園長 主任保育士 保育士 調理員	総会・全体研修会・役員選挙 アトラクション「松山小春ショー」	松山市
3	H25.6.17	保育所給食担当者研修会	調理員	(1)講話「保育所給食における衛生管理について」 (2)事例発表「保育園における給食・食育の取り組みについて」 (3)意見交換 (4)情報提供・事務連絡	松山市
4	H25.7.31	2013幼児保育音楽研修会	保育士	基礎編 1.発声の理解と実習 2.基本的な楽器の知識と正しい演奏法 3.鍵盤ハーモニカ・ハンドベルの導入と指導 4.指揮法 応用編 1.歌唱指導 2.小物打楽器奏 3.合奏実習 4.鍵盤ハーモニカ奏 5.ハンドベル奏	広島市
5	H25.6.22	保育士実技研修会	保育士	「表現あそびから朗読劇へ」～フィクションの世界を仲間と共有し、 想像力と創造力を使いながら心と身体と頭全体であそびます～	松山市
6	H25.6.19	保育新制度セミナー	園長	「子ども・子育て関連3法について」「新法・新制度に関する質疑」 「子ども・子育て支援新制度で対応が必要な事項や課題等」	岡山市
7	H25.6.12 } H25.6.13	平成25年度愛媛県初級保育士研修会	保育士	講義Ⅰ「保育士としての喜びと責任」 講義Ⅱ「ことばの育ちをどう支えていくか」 実技「つながりあそび～あそべやあそべ みなあそべ～」 講義Ⅲ「一人の『保育士』として働くために」	松山市
8-1	H25.6.25	リーダー会	保育士	打ち合わせ	松山市
8	H25.7.6	平成25年度 体育実技研修会	保育士 調理員	体育実技	松山市
9	H25.7.4 } H25.7.5	平成25年度 愛媛県子育て支援専門研修会	保育士	講義Ⅰ「子育て家庭支援の充実」 パネル・G討議「地域支援と保護者支援の充実と保育所の役割」 講義Ⅱ「地域の保護者支援の充実」 講義Ⅲ「キれる子・荒れる子」	松山市
10	H25.7.17 } H25.7.18	平成25年度 四国ブロック保育研究大会	主任保育士	基調報告、分科会、記念講演「自己肯定感を育む」	松山市
11	H25.8.22	平成25年度 愛媛県保育士関係者交流セミナー	園長 主任保育士	実技「手遊びやうたを一緒に体験しましょう！」 シンポジウム「子どもの幸せと、保護者の安心と、保育士の働きがいのために」 講演「いま、求められている保育士とは」	松山市
12	H25.9.4	主任保育士研修会	主任保育士 保育士	保育園における危機管理について 「死をまねいた保育」ルポルターージュ上尾保育所事件の真相から	松山市
13	H25.9.6	幼稚園・保育園運営強化セミナー	園長 主任保育士	第1部『英語で学ぶテーマ探究学習スタイルを幼児期から実践する』 第2部①『時代の流れを読み、認定こども園時代への具体的な 対応策を考える』 ②『“こども園時代”を生き抜く教育活動&経営実践の提言』	松山市
14	H25.10.23	平成25年度 障がい児保育実践研修	保育士	演題「発達障がいの理解を深める」	松山市
15	H25.10.30 } H25.10.31	平成25年度愛媛県保育士研修会	保育士	(1)実技「子どもたちと一緒に感動する“ものづくり”」 (2)講義Ⅰ「保育のためのコミュニケーショントレーニング」 (3)パネル討議「新たな時代の保育実践」 (4)講義Ⅱ「新たな時代の保育実践」	松山市

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
16	H25.11.7 H25.11.8	平成25年度愛媛県主任保育士研修会	主任保育士	(1)講義Ⅰ「日本のスイッチを入れる」 (2)パネル討議「保育所の使命と地域社会での役割」 (3)講義Ⅱ「多様な保育ニーズに対応していくための社会資源の活用」 (4)講義Ⅲ「子ども・子育て支援新制度について」	松山市
17	H25.11.19	給食担当者研修会	調理員	(1)講義Ⅰ「家庭・地域との連携による食育の推進」 (2)パネル討議「家庭・地域との連携による食育の推進」 (3)講義Ⅱ「保育所におけるアレルギーの対応について」	松山市
18	H25.11.19 H25.11.20	2013年度日本キリスト教保育所同盟 四国地区職員研修会	園長 保育士	演習・グループ討議「保育園での行事の持ち方」 主題「キリスト教保育と行事」	徳島県
19	H25.11.16	松山市保育会相互研修	保育士	保育士と子どものプレイセラピー(ペアレントトレーニング)	松山市
20	H25.12.10	平成25年度 障がい児保育実践研修	保育士	演題「伝える力を育てよう」	松山市
21	H25.11.30	全体研修会	保育士 調理員	講義1「保育園での食物アレルギーへの対応」 講義2「子ども子育て新制度について」	松山市
22	H25.11.29	平成25年度社会福祉施設 新任施設長等研修会	園長	講義「事例から学ぶ労務管理」	松山市
23	H25.12.20	平成25年度社会福祉法人新会計研修会	事務員	講義「社会福祉法人新会計基準の概要・移行処理」 「社会福祉法人の資産管理」	松山市
24	H26.1.14	保育士のチームカアプで保育所の レベルアップ研修会	保育士	講義「保育士のチームカアプで保育所のレベルアップ」	松山市
25	H26.1.21	給食担当者研修会	調理員	講演・実習 子どもが喜ぶ「デコ寿司」	松山市
26	H26.1.23	平成25年度愛媛県保育所長研修会	園長	講義Ⅰ「子ども・子育て支援新制度について(保育所の人材育成等)」 講義Ⅱ「新制度を前に、今考えていかなければならないこと」	松山市
27	H26.2.13	新会計基準以降セミナー	事務員	経理規程の作成、予算編成、貸借対照表の分割・統合、 貸借対照表の科目の組み換え等	松山市
28	H26.2.25	平成25年度 退職共済実務研修会及び 福利厚生センター担当者研修会	事務員	研修① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度 研修② 愛媛県民間社会福祉事業者退職年金共済支援事業 研修③ 福利厚生センター事業について	松山市
29	H26.3.25	松山市保育会代議員会	主任保育士	1. 平成25年度事業報告(案)・平成25年度会計報告(案) 2. 平成26年度事業計画(案)・平成26年度会計予算(案) 3. その他	松山市

子ども・子育て連絡協議会について

子ども達の未来を考え、より良い子育て環境の整備のための協議及び提案を行うことを目的とする。
会員は、私立保育園及び認定子ども園、地域保育所並びに子ども子育てに関係する諸団体とする。
目的を達成するために、次のことを行う。

- (1) 定期的な会員相互の情報共有のための会議。
- (2) 子ども子育てに関する行政及び諸団体との連絡と調整等。

開催日

- 第1回 平成25年 5月29日
- 第2回 平成25年 7月 8日
- 第3回 平成25年11月 8日
- 第4回 平成26年 2月17日

参加者

- 園長、主任保育士、事務員
- 園長
- 園長
- 園長

2013 年度（平成 25 年度）

ガリラヤ荘事業報告

《 事業の種類 》

- | | |
|-------------------------|---------|
| I. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） | 定員 80 名 |
| II. 短期入所生活介護事業（ショートステイ） | 定員 20 名 |
| III. 通所介護事業（デイサービス） | 定員 30 名 |
| IV. 居宅介護支援事業 | |
| V. 在宅介護支援センター | |

ガリラヤ荘（全体）

取組事項	実践内容
基礎介護力の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイザー（泉田照雄氏）による助言・指導（4 回/年）のもと、平穏ケア（トータルケア）の実践と、HOL（ハピネスオブライフ）の提供を取組み始めたことにより、職員の意識改革につながった。 ・全国高齢者ケア研究会に参加し、基礎介護知識・技術を習得してフィードバック。
地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会実施（3 月 16、21 日）、45 家族出席。 ・地域の川内保育園、東谷小学校との交流や、地域住民ボランティアの定期来荘増加。
広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの開設が未着手。 ・ガリラヤ荘開設 40 周年・移転 5 周年の感謝祭の実施。永年のボランティアグループに感謝状授与。
接遇の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ガリラヤ荘スタッフ心得を配布、各職員へ周知徹底。
職員が安心して働ける職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュ休暇（連続 4 日）の実施。 ・社会保険労務士等を交え、人事・賃金システムの見直しを検討。複数回の説明会、個別面談により職員の意見等を集約。新しい給与規程・就業規則を制定。（平成 26 年 4 月 1 日施行）
安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の運営会議にて、各部署の実績確認。稼働率がほぼ目標達成による収入増。 ・委託事業者の見直し等による経費の減額。

I. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1. 入所者の状況（平成26年3月31日現在）

【出身地別入所・退所状況】

出身地 (保険者)	保険者別入所者数			平成25年度中の移動状況					
				入所			退所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
東温市	16	44	60	9	13	22	8	16	24
松山市	4	10	14	2	2	4	3		3
西条市		2	2						
大洲市		1	1						
伊予市		1	1		1	1		1	1
今治市		1	1		1	1			
松前町								1	1
合計	20	59	79	11	17	28	11	18	29

待機者数（平成26年3月末現在 96名）

【年齢構成】

項目	男	女	全体
入所者数	20	59	79
平均年齢	81.4	88.6	86.8
最高齢	95	104	
最年少	65	69	

【要介護度別人数】

要介護度別	男	女	計
1	1	2	3
2	1	4	5
3	1	7	8
4	8	25	33
5	9	21	30
平均	4.15	4	4.04

2. 医療の状況

【受診状況】

科別	内科	外科	整形	泌尿器科	歯科	眼科	皮膚科	耳鼻科
実人数	59	4	14	2	7	1	1	1

*救急車出動要請 2回（前年度2回）

【入院状況】

	実人数	延べ日数	平均日数
4月	7	104	14.8
5月	8	84	10.5
6月	7	66	9.4
7月	5	87	17.4
8月	9	103	11.4
9月	8	61	11.4
10月	7	56	7.6
11月	10	105	10.5
12月	10	156	15.6
1月	8	69	8.6
2月	9	97	10.7
3月	11	142	12.9
合計	99	1,130	
月平均	8.25	94.16	11.4

*前年度実日数 128名
延べ日数 1,454日

【入院疾患別人数(延べ人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	25	24
心疾患	9	10
脳梗塞	3	0
膀胱炎・腎盂腎炎	5	10
腸閉塞	2	3
骨折	4	4
その他	22	28
合計	70	79

【医療管理状況】 平成26年3月31日現在

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	9	9
腸ろう	0	1
在宅酸素療法	3(2)	5
人工肛門	1(1)	0
尿道留置カテーテル	2(2)	3
インシュリン注射	1	2
痰の吸引(常時)	2	11

() はショートステイ利用者数を表示

【感染症報告】

〈結核〉

平成25年3月25日からショートステイを緊急利用した男性利用者が結核を発症。該当者は5月中旬頃より体調不良、微熱・食欲不振続いたため5月28日に家族付添で愛媛大学附属病院を受診。

6月4日にガフキー9号との結果報告があったため直ちに中予保健所に相談し状況を報告。中予保健所の指示により、8月(概ね2か月後)に、濃厚接触者(職員19名)全員の胸部レントゲン及び採血を実施。結果、職員への感染はなし。

〈インフルエンザ〉

4名の職員が感染。いずれも各職員の対応が迅速であったため、利用者への感染には至らず。

なお、感染経路は家族経由、在宅関係の事業所の会合が推測される。

	A型	B型
特養入所者	0	0
短期入所者	0	0
特養職員	0	1
短期職員	0	0
デイ職員	2	1
合計	2	2

3. 機能訓練の状況

【週間スケジュール】

	担 当	月	火	水	木	金	土
午前	介護職員	集団体操 (各ユニットにて)					
	機能訓練指導員	南1丁目	中1丁目	音楽クラブ (ショート) ※(第1週) 習字の会	中2丁目	南2丁目	フリー
	介護職員	お口の体操 (各ユニットにて)					
午後	機能訓練指導員	南1丁目	中1丁目	フリー	中2丁目	南2丁目	フリー
		音楽クラブ (特養1階)	風船バレー (特養1階)		風船バレー (特養2階) ※(第4週) 俳句会	音楽クラブ (特養2階)	
	理学療法士 (非常勤)		特養2階 宮岡PT	個別機能訓練 十全PT			特養1階 宮岡PT

【機能訓練内容】

職 種	目 的	内 容
介護・看護職員	生活リハビリ	離床、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、口腔リハ、座位・立位訓練など
	集団活動	集団体操(朝の集団体操、お口の体操など) 集団レクリエーション(音楽クラブ、風船バレーなど)
理学療法士(非常勤)	個別機能訓練	関節可動域訓練、立位・歩行訓練など

「生活リハビリを通し食事をおいしく食べていただくために、対応方法の定着を目指す。」という内容で取り組んできた。ユニット職員による食前後の口腔ケアの実施、必要な人に対しては口腔リハの実施が定着してきた。また、食事摂取困難者に対しての姿勢や介助方法についてその都度検討し、対応内容については食事カードを作成するなどして統一を図った。

4. ユニットケアの状況

『重点目標』

《1》平穏ケア（トータルケア）の実践により、穏やかな生活の支援

《2》利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作り出すケア

《3》利用者の重度化に対応する研修及びチームケアの定着

目 標	取 組	実 践 内 容	
トータルケアの実践 アドバイザー 一泉田照雄氏の指導	記録システムの継続	・「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」の継続	
		・主任・ユニットリーダーによる「ダブルチェック（記録の確認）」及びケア方法見直し検討の実践	
	基礎介護の理解	基礎介護勉強会の実施	5月 「食事」 7月 「排泄」 9月 「入浴」 11月 「褥瘡」
		ケア方法の見直し	・食事ケア、口腔ケア、陰部洗浄ケアの見直し ソフト食・柔らか食の導入 必要物品の見直し 基礎介護実践の定着 ・利用者の好みに合わせたおやつ提供（ユニット対応）の実践
	全国高齢者ケア研究会主催の研修会参加	・全国高齢者ケア研究会（茨城） 平成25年8月 5名 ・全国先端ケア研究会「困難事例検討会」（北海道網走） 平成26年2月 4名 (共に、介護主任の実践事例発表)	
エルダー制を継続し、施設が求める人材育成の実践	定期面談による、職員への助言・指導の実施	・主任・リーダーの面談方法の統一を図り、新人職員の不安を解消、組織人としての自覚、専門職としての責任について継続支援	
	介護職員が働きやすく、専門性を高めることができる支援体制の実施	夜勤勤務者へのリフレッシュ休暇導入	全該当者 31名 年間4連休（公休+年休3日）取得
		個別面談の実施及び、能力評価によるフィードバック	
	各研修、勉強会の充実	・基礎介護、その他「接遇」「口腔」「看取り」「メンタルヘルス」等	

① 【 中1丁目（特養） 】

年間目標：「笑顔が増え、楽しく、ゆったりと生活できるよう支援する」

※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取 組	評価	振 返 り
一人ひとりに合わせた 余暇時間の提供	2	時間のある時はDVDの鑑賞やお手玉遊びなどを実施。 毎日の提供は、時間の確保が難しくできなかった。また、 提供できる利用者に偏りがあった。
清潔で安心してくつろ げる環境づくり	2	台所周辺やテーブルなど掃除できていた箇所もあるが、 全体的に清掃回数が少なく、整理整頓に努めることがで きなかった。
季節に合わせた行事	3	各担当が責任を持って起案・準備を行い、計画的に取り 組むことができた。

行事については、定期的に取り組むことができ、季節感も感じていただけた。

外食も一度行ったが、もっと多くの方々が参加できる様に工夫したい。日常の中で時間の確保が
難しく、余暇時間については充実させることができなかった。

② 【 南1丁目（特養） 】

年間目標：「利用者が笑顔で過ごせるよう支援する」

※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取 組	評価	振 返 り
食事を楽しむことがで きる環境づくり	2	行事食は計画的に実施。日々の食事については、利用者 同士のトラブル等もあり、もう少し配慮が必要な部分も あった。
清潔で安心して過ごせ る空間づくり	2	リビングの環境づくり、清掃、居室の整理整頓等、改善 が必要な部分が多い。

行事は計画的に実施することができた。日々の暮らしについては、通常の業務のみになってし
まうことも多く、余暇活動等は実施が難しいことも多かった。

③ 【 中 2 丁目（特養） 】

年間目標：「利用者が笑顔で毎日を暮せるよう支援する」

※（自己評価 1:未実施 2:計画的実施が不十分 3:計画的に実施できた）

取 組	評価	振 返 り
食事・水分を楽しめる工夫	2	食事自立の方へ、会話が弾むような声かけ等、もう少し工夫が必要だった。おやつの提供については、曜日によって工夫できた。
「食べられる口」づくり	2	お口の体操ができていないこともあった。口腔ケアは自立の方へのアプローチが不十分だった。

食事自立の方への雰囲気作りが不十分で、利用者が黙々と食べていることがあった。より楽しんでいただけるような配慮が課題である。一方、利用者の希望に添って自宅へ帰ったり、外出に出かけたりなどの支援をすることができた。今後、さらに機会を増やしていきたい。

④ 【 南 2 丁目（特養） 】

年間目標：「食べられることを楽しむことができるよう支援する」

※（自己評価 1:未実施 2:計画的実施が不十分 3:計画的に実施できた）

取 組	評価	振 返 り
食べられる環境づくり	2	行事に合わせてフォークを使用し、食べやすい環境に努めた。また食事のすすみが悪い時は、器を替えるなどの工夫を行った。
利用者の好みに合わせた食事会の工夫	3	広告などを利用者に見てもらい「食べたい」「食べてみよう」という声に合わせて内容に工夫した。
実演調理の充実	3	栄養士・厨房と協力し、実践できた。

食べること、飲むことだけではなく、口の中の環境に対しても目を向けるようになった。今後も引き続き美味しく食べられる環境を整えていきたい。

⑤ 【 北2丁目（短期） 】

年間目標：「明るい雰囲気心がけ、楽しいレクリエーションを実施できるよう支援する」

※（自己評価 1:未実施 2:計画的実施が不十分 3:計画的に実施できた）

取 組	評価	振 返 り
毎日お口の体操を実施	2	毎日の実施ができなかった。
レクリエーション後の休息や水分補給の定着	2	利用状況（満床）により、時間の余裕がなく業務に追われる状態があった。休息時間は、職員も一緒にティータイムをとる予定が、ほとんど実施することができなかった。

下半期は、感染症予防のために、デイサービスや他ユニット間とのイベント交流が制限され、ユニット内のみでの実施が増えた。明るい雰囲気でも過ごしていただくことを目標とした朝の体操・お口の体操などの実践が重要だと感じた。満床及び複数の利用者の入退所対応による慌しさがあったが、短時間でも時間を作り、職員間の連携を密に実践できるようにしていきたい。

⑥ 【 総 評 】

前年度に引き続き、記録システムの定着と重度化に対応するためのケア検討を優先して努めていくことができた。結果として、利用者の健康管理、また状態の変化に伴ったケアの見直しについて一定の成果がみられ、目標稼働率（96%）を達成した。

人材育成については、基礎介護勉強会を計画的に進めていくことができた。

全体としては、移転後 5 年を迎えた節目として感謝祭を開催。今後も、これまでの歴史を引継ぎながら、新しい時代に沿った施設づくりを構築していく。

また、最期を施設で暮らすことを希望する家族が多くなり、看取りケアが増加。施設を利用する一人ひとりが、それぞれの平穏な時間を過ごせるよう、主任・リーダーを中心とした多職種協働によるチームケアをさらに定着させていきたい。

II. 短期入所生活介護事業（ショートステイ）

今年度は、レスパイト目的の定期利用者の利用定着と利用日数の増加により、8 月以降は 90%以上の稼働率をほぼ維持することができた。年間の平均稼働率は目標の数字を上回る 88%を達成。

居宅介護支援事業者等への広報活動も継続して行っており、今年度より情報サイトへの空室情報の掲載も開始。これらの広報活動が実を結び、利用の問い合わせは日々継続的に入っている。

Ⅲ. 通所介護事業（デイサービス）

※（自己評価 1：未達成 2：ほぼ達成 3：達成）

取 組		評価	振 返 り
個別ケアの実施	個別カンファレンスを実施し、情報を共有	2	・毎朝申し送り時にミニカンファレンスを実施し、ケアやプランの検討。 ・情報共有やケアの統一に繋がっている。
	小グループ活動を主とした手作りおやつや趣味活動の実施	2	・6月より利用者と共に昼食の炊飯を開始。 ・釜飯炊き、季節感のある手作りおやつも実施。生活リハビリとして楽しんで貰っている。
	個別機能訓練を実施し、利用者の在宅生活継続を支援	2	・個別機能訓練実施人数は増えているが、まだ全利用者の3分の1程度。実施人数の増加とともに内容の充実を目指す。
地域との交流	地域行事への参加	2	・川内保育園との交流3回、川上小学校との交流4回実施。
	積極的なボランティアの受け入れ	3	・毎月三味線、フラダンス、トーンチャイムなど、地域住民によるボランティアの訪問が増加。
	東温市通所の会や介護ネット東温への参加	3	・東温市通所の会は2か月毎、介護ネット東温の突合や情報交換会は毎月参加。
	地域・家族との交流	2	・利用者と利用者家族に対して、利用満足度のアンケートを実施。 ・1月に男性介護者を対象に「おとこ塾」を開催。今後も継続予定。
職員研修	施設内外研修に参加	3	・施設外では安全運転講習、マナー研修、リーダー研修等。 ・施設内では新人研修や基礎介護研修に参加。
	他事業所への見学、交換研修の実施	2	・7月ひうらの里、12月小梅、うめの小町など見学し、取組みを一部導入。
安定運営の確保	毎月の実績に関心を持ち、コスト意識を高めます。	1	・月間の利用者数を確認し、報告。 ・コスト意識については、今後の課題である。
	介護支援専門員と連携して、広報活動を実施し、新規利用者の発掘	2	・9月に東温市社会福祉協議会のデイ活動報告会で発表。各事業所への広報活動は随時実施。 【体験利用者28名・内、新規利用者18名】

- ・ 苦情処理 苦情処理件数 1件
- ・ 事 故 事故発生件数 14件

事故レベル	内 容	件数
I	(ミスをした、または異常なレベル)	6
II	(バイタル異常及び要観察レベル)	8
合 計		14

IV. 居宅介護支援事業

1. 25年度重点目標の評価

居宅サービス担当月間目標人数を、予防 24 名、介護 92 名としていたが、予防 20.6 名、介護 90 名と、目標件数には届かなかった。

取 組	振 返 り
地域の諸活動への参加	<ul style="list-style-type: none">・東温市介護支援専門員連絡会や勉強会に参加。・包括支援センターや他事業所との連携を図り、地域課題の検討やネットワークの構築、資質の向上を図った。
災害時の連絡手段の確保	<ul style="list-style-type: none">・独居や高齢者世帯の緊急時連絡名簿を作成。・東温市内での徘徊ネットワークに参加し、行方不明者捜索のシミュレーションを実施。
事業所内研修の実施	<ul style="list-style-type: none">・新人育成と現任者のスキルアップの研修を、事業所内で定期的に開催し、業務に反映。

2. アンケートの実施

対象者 : 平成 23 年～平成 25 年までの利用終了者 39 名

調査日 : 平成 23 年 3 月 17 日～平成 26 年 3 月 31 日

内 容 : 居宅サービス計画内容やサービスの調整などの業務だけではなく、ケアマネージャーの言葉遣いや態度についても調査を実施。

結 果 : 22 名からの返答があり、満足してくださった方や支障なく利用できた方が殆どで、支障があったという返答は無し。

今後は、現在利用されている方に対するアンケートを実施する予定。

3. 苦情処理 苦情処理件数 0 件

4. 事 故 事故発生件数 0 件

V. 在宅介護支援センター

1. 在宅介護支援センター活動実績報告

【相談件数及び内訳】

	内 訳	件 数	合 計
区分	新規	132	978
	継続	846	
相談区分	家族	44	978
	本人	712	
	関係機関	202	
	その他	20	
世帯	独居	598	978
	高齢者のみ	107	
	その他	273	
相談方法	電話	193	978
	来所	173	
	訪問（電話受付）	498	
	その他	114	

【相談内容及び対応】（重複あり）

相談内容	件 数
疾病・健康	639
介護	76
在宅・福祉サービス利用	426
入所・入院	10
虐待	1
苦情	1
その他	22

対 応	件 数
助言・指導	812
他機関連絡	107
申請代行	36
電話・訪問等での 安否確認	153

毎月の連絡調整会で地域住民の実態やニーズを把握し、実務担当者が情報共有することで早期解決や支援体制が取れやすくなった。

2. ふれあい・いきいきサロン参加事業

ふれあい・いきいきサロン	サロン名	場 所	参加人数（名）	内 容
ふれあい・いきいきサロン	井内友愛会	井内公民館	8	・施設紹介 施設長・渡邊相談員 ・口腔ケアの必要性・重要性について 清家機能訓練指導員 （実技や歌等実施） ・健康バイタルチェック 松本看護職
	保免いきいきサロン	保免集会所	13	
	松笠サロン	奥松瀬川集会所	16	
	森サロン	森集会所	15	
	いきいきサロンねむの木	板戸集会所	13	
	滑川サロン	滑川改善センター	12	
	夢サロン	北方西集会所	19	
	ほほえみサロン	田窪公民館	73	
	田窪団地サロン	ガリラヤ荘	23	
参加人数合計			192	

サロンにてガリラヤ荘の施設紹介とともに、介護予防の観点から口腔ケアの大切さについて実技や歌等も実施しながら理解していただいた。

その後、口腔体操がサロンに定着したところもある。今後より一層口腔ケアへの関心が高まるよう普及を目指す。参加者からは、普段の生活で行っているお口の手入れや、唾液の大切さについて楽しく理解できたとの感想があった。

3. その他地域関連事業

	事業名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事 業	在宅おたすけ教室	ガリラヤ荘施設見学	東温市包括支援センター
	介護ねっと東温	行方不明認知症高齢者捜索訓練想定 (東温市各施設事業所で訓練実施)	
	口腔ケア機能啓発指導事業	お口の健康教室 (ガリラヤ荘にて実施)	東温市保険年金課
	理・美容ボランティア	在宅での散髪事業(独居対象)	東温市社会福祉協議会

VI. 防災・救命

【訓練実施状況】

	第1回消防訓練	第2回消防訓練	第3回消防訓練	普通救命講習Ⅰ
想定内容	地 震	夜間の火災 (1階機械室)	昼間の火災 (1階厨房)	
日 付	5月30日	7月30日	11月12日	8月21日
実施時間	17:00~18:00	20:00~20:30	14:00~14:30	18:00~21:00
場 所	東温市 防災センター	ガリラヤ荘 及び職員宅	ガリラヤ荘	ガリラヤ荘
参加者数	職員15名	職員80名	職員(厨房含む) 利用者 計150名	職員24名
内 容	消火・地震・煙避難 体験を実施。消防署 の講評を受け消火 訓練を実施。	実際に火災報知 機を作動。通報訓 練と夜間緊急時 連絡表を使った 非常招集訓練を 実施。	秋の火災予防週間中 で、東温市消防署と の合同訓練を実施。 正面玄関前に消防本 部を設置。また「逃 げ遅れた者がいる」 状況を想定し、消防 署による人命検索 訓練も実施。	心肺蘇生法・AED の使用方法・異物 除去法・止血法等 を学び、受講者全 員、普通救命講習 修了証を取得。

VII. 各委員会報告

【衛生管理委員会】・・・毎月開催

感染予防マニュアルの再確認・職員の健康管理についてのチェックを行い、改善点の周知・徹底を図った。5月にショートステイ利用者の結核の発症があったが、施設内から感染者の発生はなかった。マニュアルの見直しを適宜行い、より一層的確・迅速な感染症対策を行う。

【権利擁護・苦情相談委員会】・・・随時開催（平成25年6月28日）

平成24年度の事業実績をもとに事故・苦情報告を行い、第三者委員から助言を頂いた。

平成25年度苦情件数 1件

〈内容〉 骨折事故の原因や経過の説明、対応が不十分で謝罪がなかった。

〈対応〉 家族に来荘依頼。施設長、看護主任、生活相談員が対応。骨折に至るまでの経緯・対応方法の詳細な説明、説明不足についての謝罪を述べ、了承を得る。

【褥瘡対策委員会】・・・毎月開催

各ユニットから予防対策が必要な入所者を抽出し、専門機関（皮膚科・理学療法士等）と連携を取り、具体的な方策を話し合った。また、実施後の経過報告、ハイリスク者の抽出・対策も行った。今後も、栄養マネジメントと連動しながら早期発見を行い、更なる褥瘡予防に努める。また、高齢者の皮膚の保護について皮膚科専門医と連携して考察していく。

【身体拘束廃止委員会・高齢者虐待防止委員会】・・・毎月開催

身体拘束件数 0件

高齢者虐待件数 0件

- ・施設指針の確認と意思統一を図り、気持ちの良い対応、拘束・虐待が起こり得ない環境作り
- ・委員会にて定期チェックを実施。不適切ケアの確認、改善を検討
- ・ケアの技術や虐待に対する研修の実施

【給食委員会】・・・毎月開催

11月より給食業務委託事業者が変更。

栄養ケア・マネジメントの実施により、利用者の摂取状況や提供方法、献立等について委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」と捉え、ソフト食とやわらか食に取り組んだ。

【在宅委員会】・・・毎月開催

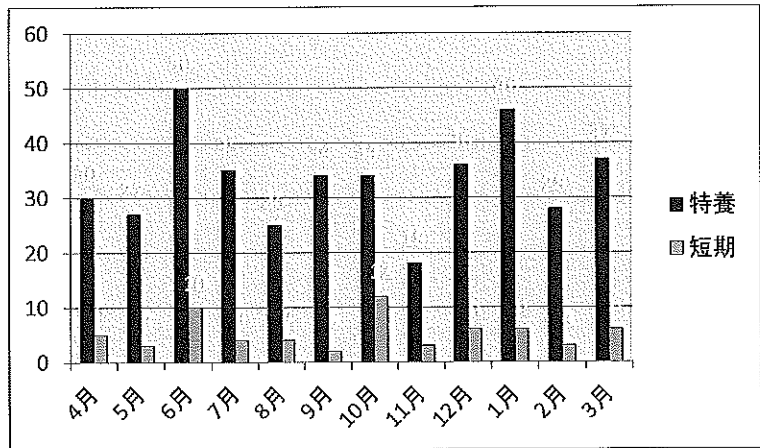
ガリラヤ荘在宅部門（居宅介護支援・通所・短期事業所）が、各部署の情報共有及び連携を図り地域の支えとなるよう、システムを構築・強化するために立ち上げた。（平成25年9月）現状の課題を検討し、介護者の孤立を防ぐため、特に男性介護者への支援として「おとこ塾」を企画。第1回おとこ塾（平成26年1月11日開催）は、6名の参加家族と鍋を囲みながら自己紹介や介護の悩み等日頃の思いを語り合い、家族と職員達との関係性も深めることができた。参加者から「息抜きができとても楽しかった。今後も続けて欲しい。」との声や、遠方の家族からもお礼のメールがあった。今後も男性介護者との交流の場として企画継続予定。

【安全（事故発生防止）委員会】

1. 月別発生件数

月	特養	短期	月計
4月	30	5	35
5月	27	3	30
6月	50	10	60
7月	35	4	39
8月	25	4	29
9月	34	2	36
10月	34	12	46
11月	18	3	21
12月	36	6	42
1月	46	6	52
2月	28	3	31
3月	37	6	43
年計（年）	400	64	464

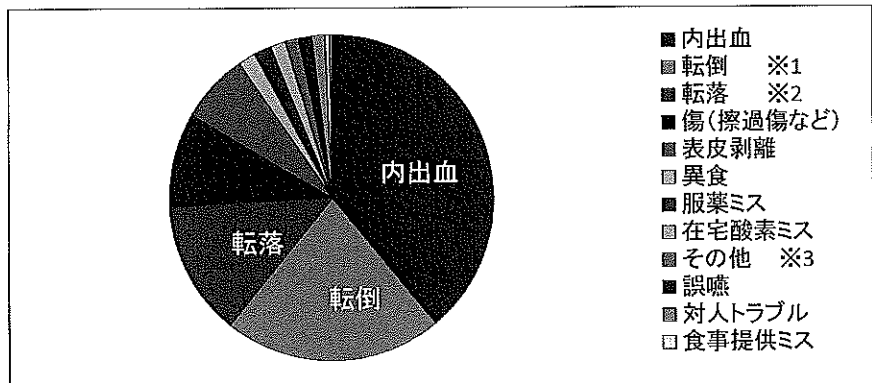
(前年度 400件)



2. 内容別発生件数

内 容	件 数
内出血	181
転倒 ※1	101
転落 ※2	62
傷（擦過傷など）	44
表皮剥離	32
異食	8
服薬ミス	8
在宅酸素ミス	7
その他 ※3	6
誤嚥	6
対人トラブル	6
食事提供ミス	2
火傷	1
合計	464

※1…立上りや歩行での転倒
 ※2…車椅子、椅子、ソファなどからの尻もちや、座り込みを含む
 ※3…バルカテールの抜去やベッドでの動きなど、事故危険があったものを含む



2-1 病院受診を行ったケース・・・20件

内 容	件数	発生率 (%)
転倒	12	11.9
内出血	3	1.7
転落	2	3.2
傷	2	4.5
誤嚥	1	16.7
合計	20	4.3

<前年度14件>

2-2 市町事故報告届け出件数・・・9件

内 容		件数		
入院	転倒	4/23	1	※排泄トイレ（左大腿骨頸部骨折）
		5/31	1	※椅子立上り（左大腿骨頸部骨折）
		11/22	1	※歩行（右大腿骨頸部骨折）
		2/17	1	※歩行（左大腿骨頸部骨折）
	誤嚥	1/15	1	※食事
処置	転倒	12/27	1	※歩行（圧迫骨折）
		3/17	1	※歩行（左側頭部打撲）
	転落	6/5	1	※ベッド端座位（左眉、鼻部裂傷）
異常なし	転倒	5/6	1	※歩行（後頭部痛）
合計		9		

※受診（2-1）のうち11件は異常がなく未報告 (前年度9件)

2-3 事故レベル内訳

レベル	内 容	件数	
I	(ミスをした、または異常なしレベル)	217	…インシデント (ひやり・はっと) レベル
II	(バイタル異常及び要観察レベル)	224	…インシデント及びアクシデントレベル
III	(治療が必要だが軽度レベル)	18	…アクシデントのみ
IV	(入院加療が必要レベル)	5	…介護事故 (市町報告)
V	(後遺症が残るあるいは死亡レベル)	0	…介護事故 (市町報告)
合計		464	

3. 発生 (発見) 場所件数

場 所	件数	発生率 (%)
居室	275	59.3
リビング	122	26.3
浴室 (ユニット)	28	6.0
脱衣室	19	4.1
浴室 (特浴室)	10	2.2
廊下	5	1.1
ダイルーム	1	0.2
駐車場	1	0.2
玄関 (ユニット)	1	0.2
和室	1	0.2
不明	1	0.2

4. 発生 (発見) 状況件数

状 況	件数	発生率 (%)
ベッド上	100	21.6
移動 (歩行)	68	14.7
車椅子上	53	11.4
排泄 (オムツ)	41	8.8
移乗	34	7.3
入浴 (個浴)	34	7.3
食事	24	5.2
更衣	20	4.3
排泄 (トイレ)	18	3.9
椅子	18	3.9
移動 (車椅子)	17	3.7
入浴 (特浴)	10	2.2
ソファー上	8	1.7
整容	5	1.1
口腔ケア	5	1.1
排泄 (PWC)	4	0.9
移動 (這う)	2	0.4
その他	1	0.2
不明	1	0.2
たん吸引	1	0.2

考察《全体》

- I 件数は、前年度と比較し増加傾向。25年度より報告レベルの区分を設定。レベルI、IIのインシデント (ひやり・はっと記録) が、全体の約2/3を占めている。(※2-3参照)
- しかし、アクシデントとして認めるIII以上が23件発生。うち5件は入院加療が必要な事故。そのほとんどが転倒による骨折であり、対策を実施しているケースではあるが (センサーの設置や見守り・付添の強化等)、反省・検討が必要。入居者の重度化に伴い、事故の発生リスクも高まっていると考えられる。
- II 重大事故発生予防とした年間活動としては、転倒転落ハイリスク者一覧を委員会内で検討し、現在各ユニットに掲示。またヒヤリハットの周知と意識付けとして、介護事故予防の標語を職員から募集した。
- 全体研修としてはリスクマネジメント研修会を開催し、KYT (危険予測トレーニング) を実施し、特に経験年数の浅いスタッフに対する教育を行うことができた。

VIII. 行事、施設内研修、実習受入の状況

月	施設行事	施設内研修	実習受入
4	入職式 職員会 永眠者記念会	新任・現任者研修 看取り研修（死生観について） 上級介護勉強会（水分・脱水）	松山城南高等学校（介護）
5	花の日訪問（松山東雲短期大学付属幼稚園） 動物園外出（3日間） 床清掃・ワックス掛け 空調フィルター・網戸・窓ガラス清掃 消防訓練（地震・煙避難体験）	基礎介護勉強会（食事）	愛媛大学医学部看護科（介護体験）
6	花の日訪問（川上教会、松山城南高等学校） 職員会	接遇勉強会 上級介護勉強会（水分・脱水）	愛媛大学医学部看護科（介護体験）
7	サマーボランティア受入 消防訓練（夜間通報） 福祉の仕事一日体験（西谷小学校） 東温高校奉仕活動（79名） 聖カタリナ高校看護科ボランティア 不在者投票	基礎介護勉強会（排泄）	東温高等学校（ヘルパー2級） 松山城南高等学校（介護）
8	ソフト食提供開始 福祉の仕事一日体験（川内中学校） しあわせのつどい（国際ホテル） 入居者レントゲン健診 お盆里帰り推進 松山まつり（わたきりになら連）参加	上級介護勉強会（便秘・下剤） 口腔ケア勉強会 普通救命講習Ⅰ 介護職員医療行為フォローアップ研修	松山城南高等学校（介護） 東温高等学校（ヘルパー2級） 松山東雲女子大学（社会福祉士） 聖カタリナ大学（介護福祉士）
9	東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式 ほほえみの里地域交流会参加 介護相談員合同連絡会 グループホームやわらぎ夏祭り参加 職員会	基礎介護勉強会（入浴） 看取り研修 法令遵守研修	愛媛大学医学部（介護体験） 河原医療専門学校（老年看護学） 松山東雲女子大学（社会福祉士） 聖カタリナ大学（介護福祉士） 愛媛大学教育学部（介護体験）
10	運動会 秋祭り（松瀬川獅子舞保存会施設訪問） 空調フィルター・網戸・窓ガラス清掃 カーテンクリーニング	感染症勉強会	河原医療福祉専門学校（介護） 愛媛大学医学部看護科（老年看護学） 愛媛大学教育学部（介護体験）
11	ガリヤ荘感謝祭（創立40周年・移転5周年） 人権の花贈呈式 収穫感謝訪問（松山東雲短期大学付属幼稚園、川上教会） 東温市文化祭出展・見学 カーテンクリーニング 床清掃・ワックス掛け アロマテラピーボランティア 消防訓練（総合・消火・通報・避難）消防署合同訓練	褥瘡勉強会 高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修	河原医療福祉専門学校（介護） 東温高等学校インターンシップ 愛媛大学医学部看護科（老年看護学） 松山城南高等学校（介護） 京都教育大学生（教育） 愛媛大学教育学部（介護体験）
12	年末年始里帰り推進 東温市社協歳末施設訪問、川内婦人会歳末訪問 ウィンターボランティア受入 職員会	口腔ケア勉強会 個人情報研修	
1	おとこ塾開催（在宅男性介護者向け）		松山城南高等学校（介護） 河原医療福祉専門学校（介護）
2	松山大学社会福祉士実習	介護職員医療行為フォローアップ研修	
3	家族会総会 松山大学社会福祉士実習 職員会	看取り研修（死生観について） リスクマネジメント研修	
その他	通年 各ユニットでの誕生昼食会 おやつ、お茶の時間（毎日） 訪問理容（カット愛・週1回） 東温市移動図書館「かぼちゃん号」（8月～月2回） 医師の回診 嘱託医5名 選択食（週1回） 訪問販売（スーパーともちか・月1回） パンの移動販売（週2回）	運営委員会 安全委員会（事故発生防止委員会） 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 ケア向上勉強会	陶芸（毎週水曜日） 俳句会（第3月曜日） ボランティア・その他 川内ともしび会 紙芝居ボランティア 介護相談員 傾聴ボランティア（笑顔に会いたい） トーンチャイムレインボー

Ⅹ. 研修の状況【施設外研修】

【特養・ショートステイ 部門】

	月日	研修名・研修内容	研修内容の補足	主催	備考	
					職種	人数(名)
介護関係	6/28	平成25年度東温市保険年金課研修会	感染症対策	東温市保険年金課	(主任)看護職、(主任)生活相談員	各1 計2
	6/30	平成25年度第1回中予地区勉強会	排泄障害のアセスメント、排泄日誌を用いた排尿・排便	えひめ排泄ケア研究会	(L)介護職	1
	7/24	平成25年度接遇研修会	ディズニー流の接遇、ホスピタリティの真髄を学ぶ	県老人福祉施設協議会	施設長	1
	7/27	摂食指導の実践とコミュニケーション研修会	食べる喜び伝えたい・摂食指導の実践、摂食機能のメカニズム	摂食コミュニケーションネットワーク	施設長、管理栄養士、調理師、栄養士、介護職、(GL)介護職	各1 計5
	8/9	嚥下食実践セミナー中級編	嚥下食の調理実習	ニュートリー	施設長、管理栄養士、機能訓練指導員	各1 計3
	8/23	特定給食施設等関係者研修会	食の安全と衛生、熱中症対策、食材を知りおいしく豊かに調理	県中予保健所	管理栄養士	1
	8/31					
	9/1	第9回全国高齢者ケア研究会 IN茨城	これからの地域包括ケア・医療連携、住民参画、ケアマネジメント、重度化対策	全国高齢者ケア研究会	理事長、施設長、(主任)介護職、(主任)生活相談員	各1 計4
	9/2					
	9/5	第62回四国老人福祉施設関係者研究大会	食事サービスと栄養ケアマネジメント	県老人福祉施設協議会	管理栄養士	1
	10/20	第17回「口から食べたい」講演会	医療・保健・介護・福祉間の多職種連携、地域連携のあり方	伊予歯科医師会	施設長、(主任)看護職、機能訓練指導員	各1 計3
	10/22	結核の基礎的知識	結核の基礎的知識	愛媛医療センター	看護職	1
	12/12	口腔ケア職員研修会	口腔ケアに関する知識の充実、実技で学ぶ口腔ケア	県老人福祉施設協議会	介護職	2
	1/17	高齢者施設等における感染症(HIV感染症等)に関する研修会	合併症(肝炎)B型・C型肝炎と地域でのケア他	県保健福祉部	(主任)看護職	1
	2/18					
2/19	第5回全国先端ケア研究会 IN網走	現場実践に即した基礎的介護の新しい枠組み	全国高齢者ケア研究会	施設長、(主任)介護職、(主任)看護職	各1 計3	
2/20						
2/21						
実習関係他	4/25	介護認定審査会委員新任研修会	要介護認定に関する基本的な考え方、主治医意見書等	東温市保険年金課	(主任)生活相談員	1
	10/16	東温市保険年金課研修会	東温市介護サービスいち押し発表会	東温市保険年金課	施設長、(主任)介護職、(主任)生活相談員	各1 計3
	1/11	介護福祉士実習指導者講習会	実習指導の理論と実際	介護福祉士実習指導者講習会	(L)介護職	1
	1/12		介護課程の理論と指導方法			
	1/25		スーパービジョンの意義と活用及び学生理解			
1/26	実習指導の理論と実際方法と展開					
防災関係	5/7	度「災害対策について」研修会	災害の発生を想定した図上訓練	中予地区老人福祉施設協議会	(主任)生活相談員	1
	6/7	東温防火管理者連絡協議会理事会・総会	火災予防思想の普及	東温防火管理者連絡協議会	(主任)生活相談員	1
	6/25	第9回愛媛県老人福祉施設大会	防災・リスクマネジメント	県老人福祉施設協議会	(主任)介護職	1
	3/2	平成26年東温市消防出初式	消防団員によるポンプ操法他	東温防火管理者連絡協議会	(主任)生活相談員職	1
人事管理関係	5/15	第1回総会・施設長研修会	笑いのチカラ	中予地区老人福祉施設協議会	施設長	1
	5/17	第1回総会・施設長研修会	人材第一の施設経営	県老人福祉施設協議会	施設長	1
	6/4	H26年3月新規学校卒業予定者対象求人手続等説明会	求人申込みから採用までの留意事項等	松山公共職業安定所	(主任)事務職	1
	6/25	度第9回愛媛県老人福祉施設大会	人材育成・組織作り、職員処遇(働きやすい職場づくり)	県老人福祉施設協議会	施設長、理事長	各1 計2
	7/6	学内福祉就職相談会	福祉事業所に学生が直接就職の相談	聖カタリナ大学・短期大学	施設長、(主任)介護職	各1 計2
	8/2	福祉就職セミナー2013「求人事業所面談コーナー」	求人事業所面談コーナー	県老人福祉施設協議会	施設長、(主任)事務職	各1 計2
8/20	事務職員研修会	人事・労務管理	中予地区老人福祉施設協議会	(主任)事務職	1	
会計関係	6/26	社会福祉法人新会計基準対策セミナー	新会計基準の基本・応用編	総合福祉研究会愛媛支部	事務職	1
	9/24	簿記講座 上級講座	新会計基準の上級編	総合福祉研究会愛媛支部	(主任)事務職	1
	9/25					
	10/29	簿記講座 財務管理	新会計基準の財務管理編	総合福祉研究会愛媛支部	(主任)事務職	1
	11/15	社会福祉法人新会計基準対策セミナー	新会計基準への移行に関する事務説明	総合福祉研究会愛媛支部	事務職	1
	1/17	監事監査チェックリストの事例研修会	新会計の決算チェックポイント	総合福祉研究会愛媛支部	施設長	1
	1/31	会計研修会	会計の基本的理解とその経営者(経理)の役割	県老人福祉施設協議会	理事長、施設長、(主任)事務職	各1 計3
3/11	社会福祉施設監事監査研修会	指導監査の実施状況及び留意事項	県社会福祉法人経営者協議会	施設長	1	
その他管理関係	9/4	第62回四国老人福祉施設関係者研究大会	2025年に求められる社会福祉法人の姿	県老人福祉施設協議会	理事長、施設長	各1 計2
	9/5		福祉・介護に関する諸制度の動向		理事長	1
	11/29	社会福祉施設新任施設長等研修会	事例から学ぶ労務管理・トラブル事例	県社会福祉法人福祉施設経営者協議会	施設長	1
	3/13	第2回総会・施設長研修会	老人福祉施設における労務管理	県老人福祉施設協議会	施設長	1
	7/19	安全運転管理者講習会	安全運転管理者に対する講習	愛媛県公安委員会	(主任)事務職	1
	7/23	施設長研修会	生活の場としての施設とは	中予地区老人福祉施設協議会	施設長	1
	11/22	平成25年給付と所得の年末調整説明会	年末調整に関する事務説明	松山税務署	事務職	1
12/7	2015年度介護保険制度改正を巡る国の動き講演会	今後の福祉・介護事業のあり方、福祉の再考	愛媛銀行	理事長、施設長	各1 計2	

【デイサービス 部門】

月日	研修名・研修内容	研修内容の補足	主催	備考	
				職種	人数
5 7	平成25年度「災害対策について」研修会	災害の発生を想定した図上訓練	中予地区老人福祉施設協議会	生活相談員兼介護職	1
5 22	送迎(福祉)車輛安全運転講習会	事故発生メカニズム、車イスの正しい固定方法、緊急回避方法等	日本福祉車輛協会	介護職	1
7 24	平成25年度接遇研修会	ディズニー流の接遇、ホスピタリティの真髄を学ぶ	県老人福祉施設協議会	生活相談員兼介護職	1
10 17	平成25年度リーダー会	チームを上手にまとめるためのリーダーシップ技術	県老人福祉施設協議会	(主任)生活相談員	1
10 18		モチベーションを維持、向上させるためのメンタルトレーニング			
11 28	平成25年度第2回デイサービスセンター職員研修会	次期介護報酬改正の最新情報、対策取り組み等	県老人福祉施設協議会	理事長、(主任)生活相談員	各1 計2
12 19	正しい通所介護計画の作り方研修会	基本に沿った効率的・効果的な作成方法	福祉と介護研究所	(主任)生活相談員	1
1 29	胃ろうケアの実際	胃ろうについての知識・日常ケアの注意点	愛媛医療センター	看護職	1

【居宅介護支援事業所 部門】

月日	研修名・研修内容	研修内容の補足	主催	備考	
				職種	人数
4 11	平成25年度認定調査員新任研修	要介護認定などに関する基本的な考え方、認定調査の方法等	東温市保険年金課		1
4 18	平成25年度介護支援専門員連絡会	東温市の社会資源をプランの中に生かして	東温市包括支援センター	介護支援専門員	1
5 16		介護支援専門員の資質向上と今後のあり方について中間報告			2
6 20		医療と介護に速やかな連携をとるために			1
7 18		ライフエンディングを考える			1
8 22		言い残し、やり残しのお手伝い			1
9 19		東温市の介護保険サービス事業所紹介			1
10 17		医療依存度の高い在宅医療の支援体制			1
11 21		認知症になっても生き生きと地域で生活できるように			1
12 19		在宅介護を知る・家族介護経験者からの体験談			1
1 16		介護支援専門員のスキルアップ研修			1
2 20		東温市俳諧ネットワークをつくる会			1
3 20		ケアマネ…この1年を語ろう会			1
6 20		訪問入浴実演見学会			訪問入浴の実演見学
7 7	愛媛県在宅緩和ケア	「地域から始まる在宅緩和ケアのアプローチ」	愛媛県在宅緩和ケア推進協議会		1
7 12	平成25年度第2回職員研修会	高齢者のDVや虐待を発見したさいの対応方法等	県地域包括・支センター協議会		1
7 23	平成25年度認定調査員現任研修	要介護認定などに関する事例演習等	東温市保険年金課		2
10 5	第4回愛媛医療センター地域医療連携交流会	地域医療連携交流会、意見交換会	愛媛医療センター		1
10 20	第17回「口から食べたい」講演会	医療・保健・介護・福祉間の多職種連携、地域連携のあり方	伊予歯科医師会		1
10 25	平成25年度第2回介護視線専門員スキルアップ研修	面接援助技術	久万高原町地域包括支援センター		1
10 26		対人援助のための相談面接の実際			
2 18	平成25年度難病地域ケア対策協議会	地域連携に必要な知識の習得及び事例検討、情報交換等	中予保健所		1
3 12	介護保険の今後の動向とケアマネージャーの求めるもの	福祉用具の説明、展示	フランスベッドがチルホームケア研究・開発財団		1
3 17	平成25年度 介護保険認定調査員研修会	調査ポイントの確認、事例検討等	東温市保険年金課		3
3 27	平成26年度地域ケア会議運営にかかる実務者研修	地域ケア会議の運営、機能の説明	東温市包括支援センター		2

X. サービス別 利用実績一覧

特別養護老人ホーム 定員80名・8ユニット（1ユニット定員10名）

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	予算
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
平均介護度	4.13	4.14	4.09	4.09	4.09	4.08	4.10	4.10	4.09	4.08	4.09	4.05	371.52	
延べ利用人数	2,282	2,384	2,333	2,390	2,377	2,335	2,423	2,293	2,320	2,408	2,156	2,361	28,062	
平均利用人数/1日	76.07	76.90	77.77	77.10	76.68	77.83	78.16	76.43	74.84	77.68	77.00	76.16	76.9	76.9
稼働率	95.1%	96.1%	97.2%	96.4%	95.8%	97.3%	97.7%	95.5%	93.5%	97.1%	96.3%	95.2%	96.11%	96%

ショートステイ 定員20名2ユニット（1ユニット定員10名）

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	予算
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
利用延べ人数計	497	527	415	534	577	540	559	527	571	573	528	559	6,407	
平均介護度	3.34	3.22	3.18	3.29	3.37	3.11	3.28	3.20	3.22	3.25	3.20	3.26	3.24	
平均利用人数/1日	16.57	17.00	13.83	17.23	18.61	18.00	18.03	17.57	18.42	18.48	18.86	18.03	17.55	
利用延べ人数	8	0	0	8	2	8	0	0	4	2	11	6	49	
平均利用人数/1日	0.27	0.00	0.00	0.26	0.06	0.27	0.00	0.00	0.13	0.06	0.39	0.19	0.14	
延べ利用人数	505	527	415	542	579	548	559	527	575	575	539	565	6,456	
平均利用人数/1日	16.83	17.00	13.83	17.48	18.68	18.27	18.03	17.57	18.55	18.55	19.25	18.23	17.7	15
稼働率	84.2%	85.0%	69.2%	87.4%	93.4%	91.3%	90.2%	87.8%	92.7%	92.7%	96.3%	91.1%	88.44%	75%

デイサービス 利用定員30名

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	予算
稼働日数	25	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	308	
利用実人数	42	44	44	47	47	46	49	51	47	50	50	51	472	
利用延べ人数	470	473	425	475	481	476	526	511	497	506	475	562	5,877	
平均介護度	2.56	2.53	2.48	2.46	2.39	2.50	2.52	2.43	2.51	2.40	2.49	2.54	2.48	
平均利用人数/1日	18.80	17.52	17.00	17.59	17.81	19.04	19.48	19.65	19.88	21.08	19.79	21.62	19.11	
利用実人数	11	10	11	10	10	11	11	12	14	12	12	13	137	
利用延べ人数	77	70	69	76	69	68	72	76	74	63	55	79	848	
平均利用人数/1日	3.08	2.59	2.76	2.81	2.56	2.72	2.67	2.92	2.96	2.63	2.29	3.04	2.75	
利用延べ人数	547	543	494	551	550	544	598	587	571	569	530	641	6,725	
平均利用人数/1日	21.88	20.11	19.76	20.41	20.37	21.76	22.15	22.58	22.84	23.71	22.08	24.65	21.86	21
稼働率	72.9%	67.0%	65.9%	68.0%	67.9%	72.5%	73.8%	75.3%	76.1%	79.0%	73.6%	82.2%	72.86%	

居宅介護支援事業所

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	予算	基礎数
介護支援専門員数	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	4	4	3.7		担当数最大
介護 利用人数	82	83	82	89	90	88	89	89	89	93	96	99	89.1	92	35*3.6=126
介護 稼働率	65.1%	65.9%	65.1%	70.6%	71.4%	69.8%	70.6%	70.6%	70.6%	73.8%	76.2%	78.6%	70.7%		
予防 利用人数	20	19	21	21	21	22	22	21	21	20	19	19	20.5	24	8*3.6=28.8
予防 稼働率	69.4%	66.0%	72.9%	72.9%	72.9%	76.4%	76.4%	72.9%	72.9%	69.4%	66.0%	66.0%	71.18%		
新規利用人数	5	3	10	4	6	1	6	3	4	4	4	4	4.5		
訪問調査件数	4	3	6	4	6	6	6	6	6	6	5	6	5.3	6	
営業訪問先					11	1	5	19	9	12	5	1	7.9		

XI. 職員の状況

部門 等	前年度末	H25 年度 当初		H25 年度中の状況			H25 年度末	常勤換算 (年度末)
		入職	4月 1日	入職	異動	退職		
特養+ショート	79	4	83	7	+2	7	85	67.1
（介護職員）	60	3	63	6	+2	7	64	48.2
（看護職員）	8	0	8	0	0	0	8	7.5
（その他）	11	1	12	1	0	0	13	11.4
デイ	10	0	10	4	-2, +1	2	11	9.6
支援+居宅	5	0	5	1	-1	0	5	5
計	94	4	98	12	0	9	101	81.7

※H26年3月31日現在・育児休業者1名、介護休業者1名、産前休業予定者1名
(3名とも特養介護職・上記常勤換算に含めず)

